



受賞のいっぽ

文芸にいつ奨励賞作品〔小説部門〕

市民の総合的な文芸作品の発表の場として、毎年「文芸にいつ」が発刊されています。昭和五十一年の第一号から数えて今年が第十八号。号を重ねることに投稿者の幅も広がり、深みのある作品が多数寄せられるようになりました。各部門の奨励賞作品を今号からシリーズで紹介いたします（受賞者の敬称略）。

また、大きな石碑の前にきてしまった。ここに立ってじっとしている時間をもつのは、これ何回目になるだろうか。

昭和ひとけた生まれの四十八歳、高梁隆郎、新聞記者が私の現在である。いわゆる地方記者で、形ばかりの本社勤務のあとに支店を転々として歩く身分だ。偶然にも雪の多い地方都市の転勤が繰り返されている。

その私が、二度目の勤務地の新潟で出会ったのが、この石碑である。雪にまつわる特集記事のシリーズの中で、この地の雪害の取材を割り当てられたのが私だった。日常的な仕事のひとつとして、現地を訪ねた。二十年前の十二月の初めだった。そこは、新潟県南魚沼郡湯沢町

歳を重ねても、まだワウワウしています。迷い、悩み、怒りが混在する毎日です。そんなある時、紙に向かい、なんとなく想いを書きつづります。解決はしませんが、ちよびりの満足もみつかります。

自然、産業、人、その全部が、豊かな自然です。地方の時代と言いつつ始めたのはいつだったでしょうか。地方の時代は、いつ来るのでしょうか。小説に託してそんな想いを書いてみました。

雪災の碑

金子 泉（新金沢町）

がした。事実、長い長い現地入りの発端になった初めての三俣への旅の日でもあった。

「そんな形に見えますかね。ヤクザな商売なんですがねえ」と受けて返した。

「いや、ネクタイして、今頃革靴を履いていたら人買いですよ。」

「人買い？」

「そう、就職のシーズンがやってきますからねえ。」

「なる程、それで行き先が、中学校ってわけですね。」

「時間ですか。」

長い道行を会話で過ごそうと思っているのか、なかなか賢いやりとりをする。私の問いを、料金のことと話を話のつぎ種が薄くなる。タクシーの走る方向に、積もった雪が見え隠れしている。

「三国の峠あたりは、降っているでしょうね。」と運転手は言う。「積もっているの？」

「そうですね、革靴じゃ歩けないかもしれないよ。」

「困ったな、二日ばかり歩きまわらななきゃならないし。」

「池田屋さんで、長靴を借りたらどうですか。」長靴を借りたとは結構な助言だが、私の問いもいかに加減だったかもしれない。雪のある現場で、革靴で歩くなどとは思ってもいないのに「困ったな」は無かったと反省をしてみた。車の窓からみえる雪の量はだんだんと増えてゆく。S字状のカーブが続く。対向車はまだ一台もない。午後三時をまわって、山の陰にはもう暗さがせまっていた。

「運転手さん、三俣の人達は、今頃の季節は何をしているんですかね。」

「男手は、関東へ出稼ぎですよ。女は、年寄りや子供のめんどろみをしてながら、春の亭主の帰りを待っている生活ですよ。」

「年寄りと一緒だと気がぬけないだらうね。」

「そうなんです、まあ、めったにないことですが、気がふれる若い女房もいますよ。」

「ほう、そんなこともあるのかね。まあ、雪に閉じ込められてひとつ家にじっとしていたら、変になるかもね。」（中略）

運転手の話は、だんだん長さを増してくる。下手に回答しないで、彼の話をまともに相手をうつことにした。（以下、略）

お買物、ご用命は市内で

「あつ!ガス臭い!!」

●窓や戸を大きく開けましょう。

●すぐガス事業者へ連絡してください。

●お名前
●ご住所
●近所の目録
●その場の状況

●地震や火災の時もあわてずに!
地震や火災の時、ご使用中のガス器具の器具栓・ガス栓を閉め、火を消してください。

●営業用でガスをお使いの皆様へ。
危険を感じた時は、お客様を安全な場所へ避難誘導してください。

「警報器が鳴っている」ときや「いやな臭い」を感じたら

●火気厳禁

●ガス栓やメーター・コックを開閉しましょう。



ご連絡はこちらへ

越後天然ガス株式会社

新潟 24-2171
秋田 26-2100

市議会の傍聴を

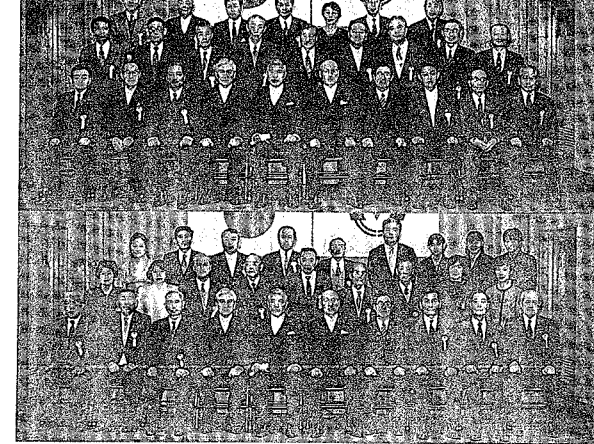
—12月定例会の日程—

市議会12月定例会が次の日程で開催されます。市議会本議は、どなたでも傍聴できます。ぜひ、お出かけください。

▷12月9日(木)本 会 議
▷12月10日(金)(午前10時開会)
▷12月22日(水)厚生委員会
▷12月13日(月)文教経済委員会
▷12月14日(火)建設企業委員会
▷12月15日(水)総務財政委員会
▷12月16日(木)能代川等改修特別委員会
▷12月17日(金)※都合により、日程が一部変更になることがあります。ご了承ください。

「科学、芸術、技芸、教育その他文化の向上に尽くされた人」

長 井 正 樹（市之瀬）
鬼 島 基 伸（柄目木）
佐久間 宏（西島）
和 泉 道 夫（七日町）
阿 部 謙 二（栗倉）
吉 川 勉（柄目木）
石 田 篤 子（古田）



十一月二十三日の勤労感謝の日に、図書館視覚ホールで「市ほう賞式」が行われました。

今年「ほう賞」を受けたのは、教育、文化の向上や産業の開発、振興に尽くされた人など四十六名、五団体です。今号では、表彰を受けた方をご紹介します（敬称略）。

「市議会の議員として10年以上在職された人」
池 田 道 雄（下新）
岩 城 和 男（滝谷町）
「市の行政委員会の委員として10年以上在職した人」
公平委員会委員
上 田 寛（美幸町3）
「市の非常勤の特別職に10年以上在職された人」
区 長
鈴 木 定 次（緑町）
石 川 照（満願寺）
佐 藤 興 一（大蔵）
横 山 文 夫（市之瀬）

伊 藤 文 男（秋葉2）
国民健康保健運営協議会委員
原 隆 夫（本町4）
交通安全指導員
目 黒 九 二 男（中沢町）
農家組合長
稲 月 富 作（大鹿）
心身障害児就学指導委員
吉 川 三 雄（本町1）
学校医
小 島 健 二（本町1）
坂 爪 誠（本町1）
五十嵐 智 子（新潟市）
清 野 信 雄（下野町）
青少年問題協議会幹事
林 三 夫（結）
長 井 正 樹（市之瀬）
鬼 島 基 伸（柄目木）
スポーツ振興審議会委員
佐久間 宏（西島）
和 泉 道 夫（七日町）
阿 部 謙 二（栗倉）
吉 川 勉（柄目木）
石 田 篤 子（古田）

市政功勞で46名、5団体を表彰

石 川 幸 二（結）
細 川 與 一 郎（結）
大 野 英 雄（美幸町3）
江 口 正 巳（中沢町）
「保健衛生、体育の向上に尽くされた人」
佐 藤 幸 作（田家3）
松 本 實（中野1）
新 井 田 昭 次（善道町2）
加 藤 昌（滝谷本町）
「道路、公園など公共施設の設置や維持管理に尽くされた人」
高 塚 光 夫（善道町1）
山 崎 若 吉（秋葉2）
新津市花と緑の会
「産業の開発、振興に尽くされた人」
遠 藤 福 之 十（東金沢）
「社会福祉の増進に尽くされた人」
吉 井 秀 行（山谷町1）
佐 藤 十三男（六郷）
石 川 卓 純
吉 田 昌 三（小戸上組）
新津高校JRC委員会
ボランティアお菓子会
さつき会
遠 山 逸 男（滝谷町）
「市行政に協力・援助された人」
拜 野 吉 郎（中新田）
本 間 英 子（市之瀬）
（株）ホクエツ（仙台市）
阿 部 千 代 子（吉岡町）
小 島 健 二（本町1）
今 井 重 朗（本町3）
佐 藤 敏 美（川根）

お買物、ご用命は市内で

花嫁の夢・ゆめ・ユメ

を、かなえる。

Bridal Salon

丸 伝

新津店 本町1丁目 ☎(24)335566 新潟店 古町九番町 ☎(228)5881

幹事さんへ!! 93忘年会予約受付中

飲み放題コース(2時間30分)

◎ 4,000円
◎ 4,500円 鍋付
◎ 5,000円 鍋付
◎ 5,000円 鍋付
※二次会無料

ふぐ鍋
始めました



本町2 ☎22-2225

横浜亭